

# アビリンピック滋賀 2025 各競技の講評とアドバイス

## 電子機器組立

電子機器組立は「はんだ付け」の基礎が学べる競技です。はんだ付け部品の貼り付け方の何が正しいかが理解できます。リード部品に張力をかけない、ランドに予備はんだをしてからはんだ付けする、部品のズレ、浮きを防ぐ貼り付け方、ICのリード裏やバックフィレットの確認など、品質に直結する知識は職場でも活かれます。何回も繰り返し練習することで、無理だと思ったものでも習得できるということを体感されていると思います。今日も課題をほとんど観ることなく競技ができていたため、素晴らしかったです。個人だけではなく、周囲のサポートあつてのことなので引き続き頑張ってください。今後も練習を続けて、国家検定の取得や全国アビリンピックでの活躍につなげてください。

## 製品パッキング

今回の課題は昨年度と変更はありませんでしたが、引き続き速さではなく丁寧に作業することを基本としました。どの選手もとても丁寧に作業ができていたこともあり、床に落ちているごみの量が過去一番少なかったと思います。いろいろな気配りをしながら作業に取り組んでいる選手も多く、思わず見とれてしまう場面もありました。

規定個数を作成できていた選手も多く、たくさん練習されたことがうかがえます。その中でも、特に化粧箱の角が折り線のとおりしっかり折れていると見栄えが良くなりますので、コツをつかんで練習をしてください。

皆さんの努力は確実に結果につながっていると思いますので、仕事や訓練にも生かしていただきたいと思います。緊張感のある会場でしたが、集中して取り組まれている姿は素晴らしかったです。

## 喫茶サービス

皆さんよく練習されて大会に挑まれていたと感じました。お客様をおもてなしする心を大切にし、その基準である笑顔と明るい声を心掛けていただければと思います。両方とも練習すれば自然とできるようになると思います。また途中でミスしても慌てず落ち着いて最後まで取り組んでください。

アドバイスとして2点お伝えします。1つ目は、「いらっしゃいませ」、「ありがとうございます」と、元気よくハキハキと接客するために、背筋を伸ばして姿勢よく、胸を張って堂々と動くようにすると、自然と声もよく出て、お客様から見て気持ちのいい印象を与えることができます。次年度の喫茶サービス競技に参加される方、実際に接客のお仕事をされる方は参考にしてみてください。2つ目は、お客様が帰られた後テーブルセッティングをするときは、テーブルを掃除するだけでなく、メニュー表やイスの位置を元に戻すことを心掛けましょう。今そのとき接客しているお客様だけでなく、次のお客様のためにも、きれいに揃えて気持ちのいいおもてなしができるようにすると、とてもよくなります。

## オフィスアシスタントA

緊張感のある会場で、どの選手も時間一杯まで集中して取り組めたと思います。課題1の発送準備作業では、作業工程が多い中、特に、宛名シールを貼る作業を丁寧に行っており、封筒の宛名と送付状の宛名、名刺と返信用封筒の担当者名を間違えるといった「誤送付」につながるミスはありませんでした。片袖折りの折り方が手順と違う（左側を折っている）選手は折り方をもう一度確認するようにしてください。また、ミスのない作業環境を整えるために、「机の上の整理・整頓」をするようにしてみてください。課題2の郵便物の仕分けについては、「総務課」と「経理課」、「営業第1課」と「管理第1課」を見間違えているミスがありましたが、全体的にとってもよくできていたと思います。どの作業からすすめるか作戦を考えただけで、丁寧に作業することを心掛けましょう。

## 縫製

全体的に終始丁寧に取り組まれていました。余裕をもって時間内に仕上げられたため、全員仕上げに時間をとれて良かったです。皆さんの日頃の大会に向けた頑張りが感じることが出来ました。

以下の点に注意して練習してください。

- ・ポケット、裾などの縫い代折り順に注意する。
- ・アイロンは熱と圧力と蒸気でかける。摩擦しないこと。
- ・アイロンでフリルをつぶさないこと。
- ・ロックミシンの表裏

今後も期待しています。

## 木工

今回は、全国大会に合わせて課題を変更しました。完成品は、どの選手もとても丁寧な作品だったと思います。減点の対象となった点は、まずは寸法精度です。板長の寸法に余裕がほとんどなく、仕上げで削りすぎると精度が崩れてしまうため、傷や目違いが多少残っても寸法確認を優先すべきでした。斜めの蟻加工は墨付け・鋸・ノミが難しく、鉛筆では線が太く精度低下の恐れがあるため、白書きや毛引きの活用が有効です。課題変更で指導側も大変だったと思いますが、道具の扱いや片付けは非常に丁寧で感心いたしました。

## ビルクリーニング

各団体の皆様が日々練習を重ねているのがよく解ったのと、教える側も研究されているなと思いました。それが相まって年々レベルが上がっています。

総評の時にも申し上げましたが、コート全体を清掃する意識をもっていただくことが大事です。練習時から取り組んでいただくようお願いします。作業方法、手順、回数などには理由があるので、そうした細かい部分も意識して練習されるとより精度が上がると思います。

またアビリンピックで培った技術がお客様のいる現場で活かしていけることを期待します。

## ワード・プロセッサ

日々、熱心に練習されていることは感じますが、大会という緊張感のある中で普段の実力を発揮できた方もできなかった方もいらっしゃったと思います。

課題に取り組むポイントとしては以下のとおりとなります。

- ・最後まで集中を切らすことなく問題に向き合う姿勢が大切です。
- ・間違えたと思ったときに全て消すのではなく、「元に戻る」ボタンや変換ミスをした単語の再変換など、リカバリー方法を身につけると良いかと思います。
- ・後半に解ける問題があるかもしれないので、解らない問題にぶつかったら、思い切って飛ばす勇気を持ってください。

## 表計算

全体的に、普段使っておられる機能(課題)から取り組まれておられたので良かったと思います。

今回の課題4種類の中で、不得意とされる課題があったように見受けられましたので、その課題(機能)のレベルアップをはかられたら良いと思います。

エクセルを使いこなすことは、業務効率につながることであるので、是非レベルアップをしていただけるよう頑張ってください。

## パソコンデータ入力

集中力を切らすことなく、3課題進めておられたのでとても良かったです。

データ入力は、入力の正確性が必要なので、日頃から確認、見直しを心掛けると良いと思います。

上達するためには基本練習がとても大切です。キーボードと画面を見ずに、正しい指使いで正確に入力する練習をしてください。

入力スピードを上げるには、指の動きと文章を読むスピードを早くする必要があります。文章を読むスピードを上げるために必要なことは読書です。本をたくさん読んで、読むスピードを上げてください。

入力は、集中を高め、指を動かすことで脳を活性化と言われています。練習を重ねることで、勉強や仕事に活かせると思いますので頑張ってください。

## DTP

オリジナリティ(個性)について、より思い切って表現する勇氣も必要と感じました。

AIに取られないDTPになるため、意図や訴求についてもっと尽力されると、個性が活かされるものにつながると思います。デザインに正解はありません。自分の視点を大切にしてください。

世の中の視点と、自分の視点の両方を考えながら表現することが大事だと思います。

「どうやったら”伝わるか”？」そのためにあきらめずに何度も何度もトライしてほしいと思います。お互い頑張りましょう！

皆さんの真剣さが伝わってきて素晴らしかったです。

## オフィスアシスタントB

課題1の宛名シールの貼り方は皆さんとてもよくできていました。片袖折りの折り方が手順と違う(左側を折っている)選手が多く見受けられました。折り方間違いは減点になりますし、手順を間違っているため成果物すべてが減点となっている選手もいましたので、公開されている課題を確認し、まずは各工程を理解するようにしましょう。課題2の封筒の仕分けについて、課題の指示では部署名のない氏名のみの封筒は職員名簿を確認して仕分けをするようになっていましたが、すべて不明に仕分けしている選手が何名かいらっしゃいました。また、不明として仕分けられていない選手も多く見受けられましたので、課題をよく確認するようにしてください。次年度の大会でオフィスアシスタント A に挑戦しようと考えている場合は、さらに難しくなりますので、公開されている課題の確認をしてから練習をするようにしましょう。緊張感のある中、選手全員が一生懸命取り組まれていました。

選手の皆様、お疲れさまでした！  
またのご参加お待ちしております。

アビリス

